

2002年1月1日～2024年12月31日の間に 当科において心房機能性僧帽弁逆流と診断され 心エコー図検査を受けられた方へ

「心房機能性僧帽弁逆流症患者における予後調査」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学	循環器内科学	特任講師	玉田智子
研究分担者	川崎医科大学	循環器内科学	教授	上村史朗
	川崎医科大学	循環器内科学	准教授	根石陽二
	川崎医科大学	循環器内科学	講師	久米輝善
	川崎医科大学	循環器内科学	講師	今井孝一郎
	川崎医科大学	循環器内科学	講師	山田亮太郎
	川崎医科大学	循環器内科学	講師	古山 輝将

1. 研究の概要

心房機能性僧帽弁逆流は長期間の心房細動によって心房が拡大することによって生じ、うっ血性心不全の原因として近年注目されています。この疾患は生命予後に大きな影響を及ぼしますが、臨床転帰(治療における疾患の経過や結果)については不明な点が多いのが実情です。われわれは、この疾患の患者さんを対象に通常の診療で得られたデータを用いて研究を行います。使用するデータは血液検査、心エコー図検査、心臓カテーテル検査です。これらのデータを用いて予後調査や新たな治療戦略への足がかりを研究します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2002年1月1日～2024年12月31日の間に川崎医科大学附属病院において心エコー図検査を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年12月31日

3) 研究方法

2002年1月1日～2024年12月31日の間に当院において心房機能性僧帽弁逆流症と診断され心エコー図検査を受けられた方で、研究者が登録後1年間のデータを含め2025年12月31日までの診療情報をもとにデータを選び、臨床転帰について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：身長、体重、年齢、性別、病歴、治療歴、内服薬、採血データ、心エコー図データ 等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学循環器内科学内で保存させていただきます。電子情報はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、そのコンピューターは施錠可能な保管庫に保管します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年3月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 循環器内科

氏名：玉田 智子

電話：086-462-1111 内線：25518（平日：9時00分～17時00分）

E-mail：cardio@med.kawasaki-m.a.c.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入および使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。